

三重大学大学院
地域イノベーション学研究科博士前期課程

学生募集要項
平成 31 年 4 月入学
(第三次募集)

【入学試験日程表】

＜一般選抜・社会人特別選抜＞第三次募集

内容	日程
障害等のある入学志願者との事前相談	平成 31 年 1 月 25 日（金）
出願資格事前資格審査申請期間	平成 31 年 1 月 28 日（月）～2 月 1 日（金）
出願資格事前資格審査結果通知	平成 31 年 2 月 7 日（木）以降
出願期間	平成 31 年 2 月 12 日（火）～2 月 20 日（水）
試験日	平成 31 年 2 月 27 日（水）
合格者の発表	平成 31 年 3 月 8 日（金）
入学手続き	平成 31 年 3 月中旬

目 次

○三重大学大学院地域イノベーション学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー ……	1
--	---

○平成 31 年 4 月入学

三重大学大学院地域イノベーション学研究科博士前期課程学生募集要項 ……	2
-------------------------------------	---

＜一般選抜・社会人特別選抜＞ 第三次募集

募集人員・出願期間・試験日・合格発表 ……	2
選抜の方法 ……	2
出願資格 ……	3
出願手続き ……	4
出願資格事前審査 ……	4
一般選抜出願資格⑩による入学志願者の選抜について ……	5
入学検定料の返還について ……	5
出願書類等（表 1） ……	6
出願書類等（表 2）＜資格事前審査＞ ……	7
渡日前健康診断について ……	8
注意事項 ……	8
障害等のある入学志願者との事前相談 ……	8
個人情報の利用について ……	9
過去の入学試験問題について ……	9
入学手続き ……	10
入学料及び授業料 ……	10
長期履修学生制度について ……	10
大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置 ……	11
教員免許について ……	11
履修方法 ……	11
教育研究分野 ……	12
博士前期課程の学位取得までの履修モデル ……	13
各種問合せ先・学生募集要項の請求方法 ……	17

○博士前期課程 アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

地域イノベーション学研究科は、地域のニーズを発見し、問題を解決するための新しい概念と方法を創造し、それらを国内のみならず海外にも展開できる地域イノベーション学に関わる高度な思考方法と実現方法を教育します。そして、「多面的な視野で研究・開発が推進できる能力とプロジェクト・マネジメントが実践できる高度な能力を兼ね備えた人材」および「地域にゼロから1を創造できる社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）人材」を養成します。そして、その到達水準は、専門分野における研究開発や新事業の創出を担当者として遂行できる基礎的研究能力とマネジメント能力を兼ね備える水準とします。

～このような人を求めます～

1. 大学学部等で修得した学習内容を幅広く理解し、基礎的な専門知識と外国語力を身につけている人
2. 基本的なコミュニケーション力を身につけている人
3. 地域の問題について自ら感じ（感じる力）、問題解決方法を考え（考える力）、社会を発展させる（生きる力）意欲のある人
4. 国際的に通用する基礎的研究能力およびプレゼンテーション能力等の実践的なコミュニケーション力を修養する意欲のある人
5. 多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新事業の創出や、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人
6. 科学技術と社会の変革により、地域の企業や行政において新しい価値を創り出す「地域にゼロから1を創造できる社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）」となる意欲のある人

平成 31 年 4 月入学
三重大学大学院地域イノベーション学研究科（博士前期課程）
学生募集要項

＜一般選抜・社会人特別選抜＞ 第三次募集

○募集人員

専攻	ユニット	募集人員
地域イノベーション学	工学イノベーション	若干名
	バイオイノベーション	
	社会イノベーション	

○出願期間・試験日・合格発表

出願期間		試験日	合格発表
平成 31 年 2 月 12 日（火） ～平成 31 年 2 月 20 日（水）		平成 31 年 2 月 27 日（水）	平成 31 年 3 月 8 日（金）
備考	受付時間：平日 9 時から 17 時 （郵送の場合は 期間内に必着）	当日は受験票を必ず持参して 試験室に入室してください。	午前 10 時頃、地域イノベーション学研究科掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人宛に郵送で通知します。 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

※本研究科ホームページに掲載する「合格者受験番号」については情報提供の一環として行うものであり、公式の合格発表は本研究科の掲示板及び郵送による通知で行います。

○選抜の方法

入学者の選抜は、書類審査（GPA 含む）、筆記試験（英文読解）、口述試験の結果を総合して行います。ただし、TOEIC®公開テスト（Test of English for International Communication）の公式認定証（Official Score Certificate）（出願受付開始日から遡って 3 年以内のもの）を出願時に提出することにより、スコアによっては筆記試験（英文読解）の受験に替えることができます。替えることの可否については出願後通知します。TOEIC®以外のスコア等をお持ちの方は事前にお問合せください。※筆記試験は、上記スコアその他、成績・業績等により免除することがあります。

注 1） TOEIC®公開テストスコアは出願受付開始日から遡って 3 年以内のものを提出してください。

注 2） TOEIC®S&W や TOEIC Bridge®のスコアは評価の対象となりません。

注 3） TOEIC®受験に係る費用は、志願者の自己負担となりますのでご了承ください。

注 4） 授業のための日本語力は必要です。

【一般選抜】・【社会人特別選抜】※筆記試験は、成績・業績等により免除することがあります。

選抜の方法	時間	摘要
筆記試験	10:30～12:00	辞書（1 冊）の持ち込みを認めます。 （電子式は不可。）
口述試験	13:30～	学修してきた内容を問うとともに、入学後の研究を実施するための基礎学力等の検査、修学意欲、目的、卒業論文、志願理由等について行います。

○出願資格<⑨～⑪に該当する者は事前資格審査が必要です。>

【一般選抜】

※下記の①～⑪のいずれかに該当する者

【社会人特別選抜】

※企業等に勤務する者で、入学後も引き続き勤務が見込まれ、下記の①～⑪のいずれかに該当する者

①学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条第 1 項に定める大学の卒業者及び平成 31 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

②学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 31 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

《大学評価・学位授与機構により学位を授与された者及び見込みの者をいいます。》

③外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

④外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者

⑦専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

⑧文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）

《文部科学大臣の指定による、大学を卒業した者と同等の学力があると認められる者とは次の者をいいます。旧大学令による大学、旧高等師範学校規定による旧高等師範学校専攻科、旧師範教育令による高等師範学校・女子高等師範学校の修業年限 1 年以上の研究科、防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校の長期

課程などの卒業（修了）及び平成 31 年 3 月 31 日までに卒業（修了）見込みの者》

⑨学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

《本研究科以外の大学院に飛び入学した者が本研究科において教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者をいいます。》

⑩平成 31 年 3 月 31 日までに大学の在学期間が 3 年以上となる者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了する者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了する者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了する者で、本研究科が所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者

⑪本研究科において、個別の資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

○出願手続き

1) 出願方法（学生募集要項を請求し、所定様式等により出願してください。）

出願資格の一般選抜①～⑧、社会人特別選抜①～⑧、外国人留学生特別選抜①～⑧での入学志願者は、出願期間内に＜出願書類等（表 1）＞を、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。※出願書類は、返還しません。

2) 出願先 三重大学地域イノベーション学研究科事務室 TEL：059-231-9632
（三重大学地域イノベーション研究開発拠点 D 棟 1 階）
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

○出願資格事前審査

出願資格の一般選抜⑨⑩⑪、社会人特別選抜⑨⑩⑪で出願しようとする入学志願者には、個別の出願資格事前審査を行います。事前に地域イノベーション学研究科事務室へ照会してください。原則として、志望する教育研究分野の教員又は指導予定教員と事前に連絡をとってから書類を提出してください。

1) 出願資格事前審査書類提出期間

平成 31 年 1 月 28 日（月）～平成 31 年 2 月 1 日（金）

※受付時間は平日の 9 時から 17 時、郵送（書留速達に限る。）の場合は期間内必着のこと。

2) 出願資格事前審査結果通知期日

平成 31 年 2 月 7 日（木）以降

3) 事前審査出願書類

出願書類等(表2)に記された必要書類(入学検定料振込以外)を提出してください。出願資格の一般選抜⑨⑩⑪、社会人特別選抜の出願資格⑨⑩⑪に該当する者の認定は、提出書類等の審査により行います。審査の結果「出願資格あり」と認定された場合は、入学検定料(30,000円)を振込み完了後、振込証明書(原本)を出願期間内に提出してください。

なお、出願書類は再度提出していただく必要はありません。

4) 審査の結果「出願資格あり」と認定されたが諸般の事情により受験できなかった、受験したが不合格となった場合は、本年度内実施の入学試験に限り審査結果を有効とします。

○一般選抜 出願資格⑩による入学志願者で在学中の者の選抜について

1) 選抜の方法

選抜は、事前資格審査と選抜試験(選抜の方法を参照)及び最終成績審査により行います。

ア 選抜試験は、書類審査(GPA含む。)、筆記試験(英文読解)、口述試験の結果を総合して行います。

イ 選抜試験の合格者については、平成31年3月8日(金)に合格者として本人に通知しますので、志願者は3年次修了もしくは15年の課程の修了までの成績を記載した出身大学の成績証明書(発行者において厳封したもの)を平成31年2月28日(金)までに郵送(書留速達:期日必着)又は持参してください。提出先は出願先と同じです。

2) 注意事項

本選抜方法により、大学を卒業せずに本研究科に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は退学となります。従って、種々の国家試験等の資格試験の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件としているものについては、受験資格がないことになります。

○入学検定料の返還について

入学検定料を払い込んだ後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還しません。

- ①入学検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
- ②入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③渡日前健康診断により、入学試験が受験できなかった場合

上記の理由に該当する場合は、「入学検定料返還請求書」の提出により全額を返還します。

※返還を希望する場合は、速やかに三重大学財務部経理チームへ提出してください。

<返還方法>

三重大学 HP 入試情報(<http://www.mie-u.ac.jp/exam>)に掲載されています「入学検定料の返還について」に従って、返還手続きを速やかに行ってください。返還には、入学検定料「振込証明書」が必要になりますので、大切に保管してください。

出願書類等（表1）【一般選抜、社会人特別選抜】出願資格①～⑧

志願者は下記の書類を提出してください。○印の書類は全員が必要です。△は該当者のみ

出願書類	摘 要	一般選抜	社会人選抜
入学志願	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。	○	○
受験票・写真票	出願日前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。	○	○
卒業（見込み）証明書	出身大学又は学校等の卒業（見込み）証明書。 現在本学に正規生として在籍する方は不要です。それ以外の方は必要です。	△	○
出身大学又は学校等の成績証明書	発行者において厳封したもの。	○	○
学位授与証明書又は学位授与申請（予定）証明書	一般選抜・社会人特別選抜の出願資格②に該当する方は必要です。学位授与見込みの者は、短期大学長又は高等専門学校長が発行した学位授与申請（予定）証明書又は修了見込み証明書等の学位授与見込みを証明する書類。	△	△
志願理由書	本研究科所定の用紙に入学して勉学・研究を行いたいと考えた動機及び目的（計画）を1,000字程度で記入してください。	○	○
研究成果資料	出願者の研究業績（著書、学術論文、学術報告、学会発表、特許等）がある場合はそれを示す資料を添付してください。（共同研究の場合は出願者が担当した部分を明確に記載してください）	△	△
研究業績の概要	現在本学に正規生として在籍する方は不要です。それ以外の方は必要です。本研究科所定の用紙によるか、本研究科の用紙にないA4判の用紙に1,000字程度（図・表等を含めることも可）で作成してください。ただし、本学以外を卒業見込みの方及び大学評価・学位授与機構より学士の学位を授与される見込みの方は研究の進行状況を記述したものでもかまいません。	△	○
TOEIC®公式認定証	出願受付開始日から遡って3年以内の公式認定証を提出してください。	△	△
返信用封筒	本研究科所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、522円分の切手（特定記録郵便速達）を貼ってください。	○	○
入学検定料	入学検定料 30,000 円（国費外国人留学生は不要） 本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・農協など）の窓口に入学金検定料を添えて提出してください。（ただし、ATM（現金自動預払機）、ゆうちょ銀行、コンビニエンスストア及びインターネットによる振込みはできません。） 振込み完了後、振込証明書を受け取り金融機関の受領印が押されているのを確認し「入学志願票」の所定欄に貼って、他の出願書類とともに提出してください。なお、受取書は出願者本人の領収書となりますので大切に保管してください。	○	○
受信先シール	合格通知書、入学手続等の書類の送付先を記入してください。	○	○
健康診断書 ＜本学様式必須＞	海外在住者（日本国籍者含む）のみ提出要。出願時から遡って6ヶ月以内に作成されたものを提出してください。	△	△
その他	外国人留学生は、国籍・在留資格を証明できる書類（入国査証、在留カードの写し等）を提出してください。	△	△

出願書類等（表2）【一般選抜、社会人特別選抜】出願資格⑨～⑪

志願者は下記の書類を提出してください。○印の書類は全員が必要です。△は該当者のみ

出願書類 ＜事前資格審査＞	摘 要	一般選抜	社会人選抜
入学志願票	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。	○	○
受験票・写真票	出願日前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。	○	○
出身大学又は学校等の成績証明書	発行者において厳封したもの。	○	○
在学証明書	一般選抜・社会人特別選抜の出願資格⑩に該当する方で在学中の方は必要です。	△	△
出身大学の履修手引 （授業内容一覧含む）	一般選抜・社会人特別選抜の出願資格⑩に該当する方は必要です。	△	△
志願理由書	本研究科所定の用紙に、入学して勉学・研究を行いたいと考えた動機及び目的（計画）を1,000字程度で記入してください。	○	○
研究業績の概要	一般選抜・社会人特別選抜の出願資格⑪に該当する方は必要です。本研究科所定の用紙によるか、本研究科所定の用紙にならないA4判の用紙に1,000字程度（図・表等を含めることも可）で作成してください。	△	△
出願資格事前審査申請書	本研究科所定の様式を提出してください。	○	○
研究成果資料	出願者の研究業績（著書、学術論文、学術報告、学会発表、特許等）に関する資料（共同研究の場合は、出願者が担当した部分を明確に記載してください。）又は上司による職場での実務経験を証明する文書を添付してください。	○	○
TOEIC®公式認定証	出願受付開始日から遡って3年以内の公式認定書を提出してください。	△	△
返信用封筒	本研究科所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、522円分の切手（特定記録郵便速達）を貼ってください。	○	○
入学検定料	（出願資格事前審査の申請時には振込まないでください。審査の結果「出願資格あり」と認定された場合、出願期間内にお支払いください。） 入学検定料 30,000円（国費外国人留学生は不要です。） 本学所定の振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・農協など）の窓口に入学金検定料を添えて提出してください。（ただし、ATM（現金自動預払機）、ゆうちょ銀行、コンビニエンスストア及びインターネットによる振込みはできません。） 振込み完了後、振込証明書を受け取り、金融機関の受領印が押されていることを確認し、振込証明書（領収書原本）を出願期間内に出願先へ提出してください。なお、受取書は出願者本人の領収書となりますので大切に保管してください。	○	○
受信先シール	合格通知書、入学手続等の書類の送付先を記入してください。	○	○
健康診断書 ＜本学様式必須＞	海外在住者（日本国籍者含む）のみ提出要。出願時から遡って6ヶ月以内に作成されたものを提出してください。	△	△
その他	外国人留学生は、国籍・在留資格を証明できる書類（入国査証、在留カードの写し等）を提出してください。	○	○

○渡日前健康診断について

出願期間内に外国に在住している者（日本国籍を有する者を含む。）で受験するために新たに来日する者は、健康診断書（本学様式）原本を出願時に提出してください。

健康診断書は、出願期間の初日時点から起算して 6 ヶ月以内に海外の医療機関において公式に作成されたものとしします。なお、健康診断に係る費用は、志願者の自己負担となります。

※本学保健管理センターにおいて健康診断書を確認し、結核感染が確認された場合には、入学試験期日の 2 週間前までに新たに健康診断書を提出し、「感染のおそれがない」と認められない限り、入学試験を受験することはできません。（※参照：入学検定料の返還について）

○注意事項

- （１）出願書類に記入漏れ等不備がある場合は、受理しないことがあります。
- （２）出願書類等に虚偽の記載内容があった場合は、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがあります。
- （３）試験当日は、必ず本研究科が交付した受験票を持参してください。

○障害等のある入学志願者との事前相談

本研究科に入学を志願する方で、障害（学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める障害の程度（次表参照））等がある方に対しては、受験及び就学上配慮が必要となる場合もありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度なもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚	両耳の聴覚レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
身体機能	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発達障害	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とするもの
そ の 他	上記以外で、受験上及び修学上配慮を必要とする程度のもの

「注」日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談して

ください。事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

1) 相談の方法

配慮を希望する場合は、電話又は FAX などによりあらかじめ下記事務室に連絡した上で、次の内容を記載した相談書（様式は特に定めません。）を同事務室に郵送などの方法で提出してください。

なお、必要な場合は入学志願者又は出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

- ①入学志願者の氏名、性別、生年月日、住所、連絡先の電話番号
- ②出身大学又は大学院等名・卒業・修了（見込み）年月日
- ③志望教育研究ユニット
- ④障害の種類・程度（医師の診断書又は身体障害者手帳等の写しを添付してください。）
- ⑤受験及び就学上希望する具体的配慮
- ⑥出身大学等における生活状況等（主として授業関係）
- ⑦その他 参考となる事項

2) 相談の時期 平成 31 年 1 月 25 日（金）まで（※平日 9 時から 17 時まで）

3) 相談先 三重大学地域イノベーション学研究科事務室

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

TEL : 059-231-9632 FAX : 059-231-9956

○個人情報の利用について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という）が平成 17 年 4 月 1 日から施行されました。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

- （1）合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- （2）入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修業に係わる業務並びに健康診断等の保険管理に係わる業務で利用します。
- （3）入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- （4）入学者選抜で取得した成績等の個人情報を入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修業支援に係わる業務で利用します。
- （5）個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査で利用します。

※本学が取得した個人情報は、法で定められた場合を除き、本人の同意を得ることなく、上記以外の目的で利用または第三者に提供することはありません。

○過去の入学試験問題について

三重大学地域イノベーション学研究科事務室において、過去 3 年分の閲覧及びコピーを渡すことが可能です。

○入学手続き

入学手続きに必要な書類は、平成 31 年 3 月中旬に送付します。

注) 在職者は、所属長の入学承諾書が必要です。

○入学科及び授業料

①入学料：282,000 円（予定額）

②授業料：前期分 267,900 円（予定額）（年 額 535,800 円（予定額））

注) ①②とも国費外国人留学生は不要です。

注) 在学中に授業料の改定が行われた場合には改定された新授業料が適用されます。

○長期履修学生制度について

長期履修学生制度は、職業等に従事しながら、個人の事情に応じて、柔軟に標準修業年限（2 年）を超えて履修し学位等を取得できるようにする制度です。

長期履修学生として認められる修業年限は最大 4 年となります。それぞれの年（学期）に支払う授業料は、2 年間（標準修業年限）に支払うべき授業料総額をあらかじめ認められた修業年限で除した額となります。（下記【授業料の納入例】参照）

長期履修を希望する者は、出願期間中に「長期履修申請書（本研究科所定の用紙）」及び「在職証明書等（在職証明書またはそれに準ずる書類）」を提出する必要があります。長期履修申請書（本研究科所定の用紙）は、事前に下記事務室へ請求してください。

長期履修申請の審査結果は後日、合格者本人に通知します。

【授業料の納入例】

標準修業年限（2 年）

1 年目	2 年目	授業料総額 1,071,600 円
(535,800 円)	(535,800 円)	

①出願時に申請し、3 年の長期履修学生として認められた場合

1 年目	2 年目	3 年目	授業料総額 1,071,600 円
(357,200 円)	(357,200 円)	(357,200 円)	

$1,071,600 \text{ 円} \div 3 \text{ 年} = 357,200 \text{ 円}$ （1 年間の授業料）

②出願時に申請し、4 年の長期履修学生として認められた場合

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	授業料総額 1,071,600 円
(267,900 円)	(267,900 円)	(267,900 円)	(267,900 円)	

$1,071,600 \text{ 円} \div 4 \text{ 年} = 267,900 \text{ 円}$ （1 年間の授業料）

長期履修学生制度についての詳細は、下記事務室へお問合せください。

三重大学地域イノベーション学研究科事務室

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

TEL：059-231-9632 FAX：059-231-9956

○大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育の実施について

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要望が高まっています。しかし、通常の教育方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は標準で 2 年間その勤務を離れて就学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されています。

このため大学院設置基準第 14 条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人の就学に特別措置を行うことが配慮されています。

これを踏まえ、本研究科では、大学院での履修を希望する社会人を積極的に受け入れるため、概ね次のように実施します。

1. 授業等の実施方法

- (1) 通常の授業時間帯の他に、平日は夜間の 11・12 時限（18：00～19：30）、休日は土曜日の第 1～8 時限（8：50～16：10）の間に授業を受けることができます。
- (2) 夏期休業中などの長期休暇を利用して集中授業を受けることもできます。
- (3) e ラーニングの導入を予定しており、自宅学修により講義の一部については履修できます。
- (4) 上記による場合は、指導を希望する教員と十分相談の上、実施可能な履修計画を立ててください。

2. 研究内容と場所

- (1) 社会人学生の研究は、本研究科の指導教員の指導によって実施し、その内容は公表されることになります。その場合、教員の選んだテーマ以外に教員の了解を得て、勤務先等での研究体験を通して選んだテーマで研究を行うこともできます。
- (2) 研究を全うするために、大学にない特殊な研究設備などを必要とする場合には、本研究科の研究室以外に、他研究科、勤務先等の施設や設備を利用することができます。

○教員免許について

本研究科において、高等学校教諭専修免許状の取得はできません。

○履修方法

前期課程の履修方法は下表の通りとする。

【工学イノベーション・バイオイノベーション・社会イノベーションユニット】

科目等区分		選択の別	単位数
共通科目		必修	12
		選択	2
専門科目	インターンシップ研修Ⅰ又は 社会連携実践	選択必修	4
	専門科目	選択	10
特別研究		必修	10
修了必要単位		計	38

*インターンシップ研修Ⅱ（選択・4 単位）

○教育研究分野

本研究科は、次頁の表の専任教員の教育研究分野以外に、本学の他の研究科の教員との共同研究も推進しており、種々の分野を融合した新しい境界領域を教育研究します。

専任教員（平成30年4月現在）

ユニット	担 当 教 員	役割	研究分野の内容
工学イノベーション・バイオイノベーション・社会イノベーション	教 授 青 木 恭 彦	R&D	水産物品質管理学、水産食品衛生学、糖質科学、水産酵素学
	教 授 大津留 榮佐久	PM	技術経営とプロジェクト・事業モデル開発、産学連携マネジメント、グローバルイノベーションリサーチ
	教 授 小 林 一 成	R&D	植物病理学、応用植物ゲノム学
	教 授 末 原 憲一郎	R&D	生物化学工学、食品工学、廃棄物工学（バイオマス）、生物情報工学、分光分析
	教 授 西 村 訓 弘	PM	地域イノベーション学、トランスレーショナル医科学
	教 授 朴 恵 淑	R&D	環境地理学、環境教育、国際環境協力
	教 授 三 宅 秀 人	R&D	半導体工学、窒化物半導体・結晶成長、デバイス応用
	教 授 宮 本 啓 一	R&D	医用高分子材料、生体材料化学、高分子化学、細胞工学
	教 授 森 久 綱	R&D	農業経済論（生産材市場）、資源循環システム論
	教 授 矢 野 竹 男	PM	免疫化学、免疫測定、食品化学、食物アレルギー、フイトケミカル、プロジェクト・マネジメント
	准教授 青 木 雅 生	R&D	経営学、経営史、研究開発マネジメント論、中小企業論
	准教授 加賀谷 安 章	R&D	植物生理学、植物分子生物学、植物分子遺伝学
	准教授 狩 野 幹 人	PM	食品工学、分光分析、知的財産マネジメント、技術移転マネジメント、リスクマネジメント
	助 教 加 藤 貴 也	PM	バイオメカニクス、バイオエンジニアリング、産学官連携、アントレプレナーシップ論
	助 教 肖 世 玉	R&D	半導体工学、窒化物半導体・結晶成長、デバイス応用
	助 教 臧 黎 清	R&D	薬理学、実験病理学、分子医学、分子生物学
	助 教 林 侑 介	R&D	半導体工学、窒化物半導体・結晶成長、デバイス応用
	助 教 八 神 寿 徳	PM	知的財産マネジメント、技術移転、計算科学、流体工学

博士前期課程の学位取得までの履修モデル①

工学イノベーションユニット（博士前期課程）

研究テーマ：学生の自主性を高める次世代 e ラーニングシステムの開発

特別研究の進め方

本プロジェクトでは、情報科学を専門とする R&D 教員が主指導者として研究指導を行い、データマイニングを専門とする R&D 教員が指導を補助することで、学生の情報発信能力を向上させる支援ツールを付加した次世代 e ラーニングシステムを開発するために必要な要素技術の研究を行う。さらに、PM 教員が特別研究に加わり、関連する産業界の分析を行わせることで研究成果の応用ターゲットを設定させ、特別研究の成果を実用化するための研究開発プロジェクトについて実践的な戦略と手順を考察・立案させる。

修了後の進路予定

- 情報システム企業における次世代 e ラーニングシステムの開発担当者
- 情報ネットワーク企業における次世代 e ラーニングシステム向けネットワークシステムの開発担当者

修了要件

「共通科目」14 単位、「専門科目」から 14 単位以上、「特別研究」10 単位の合計 38 単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

	共通科目 (必修・選択：14 単位)	専門科目 (必修・選択：14 単位以上)	特別研究 (必修：10 単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	工学イノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1 年次	○基礎科学特論 (2 単位) ○地域イノベーション学特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 I (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2 年次と合わせて 2 単位) ○企業経営特論 (1 単位) ○研究開発倫理特論 (1 単位)	○インターンシップ研修 I (4 単位) ○工学イノベーション特論 I, II, III, IV (各 2 単位×4 科目=8 単位) ○工学イノベーション専門英語 I (2 単位)	○特別研究 I (4 単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2 年次	○地域イノベーション実践特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (1 年次と合わせて 2 単位) ○英語口頭発表 (1 単位) ○英語論文作成 (1 単位)		○特別研究 II (6 単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士(学術)

博士前期課程の学位取得までの履修モデル②

バイオイノベーションユニット(博士前期課程)

研究テーマ：生体遺伝子と免疫応答，ストレス応答の分子機構の解明

特別研究の進め方

本プロジェクトでは、植物科学を専門とする R&D 教員が主指導者として研究指導を行い、農学系バイオサイエンスを専門とする R&D 教員が指導を補助することで、免疫応答性を強化することでストレス耐性を高めた植物品種を開発するために必要な要素技術の研究を行う。さらに、PM 教員が特別研究に加わり、関連する産業界の分析を行わせることで研究成果の応用ターゲットを設定させ、特別研究の成果を実用化するための研究開発プロジェクトについて実践的な戦略と手順を考察・立案させる。

修了後の進路予定

- 県の農業系職員として作物の病害を管理する担当者
- 国際展開するアグリビジネス企業におけるストレス耐性植物品種の開発担当者

修了要件

「共通科目」14 単位、「専門科目」から 14 単位以上、「特別研究」10 単位の合計 38 単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

	共通科目 (必修・選択：14 単位)	専門科目 (必修・選択：14 単位以上)	特別研究 (必修：10 単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	植物系バイオイノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1 年次	○基礎科学特論 (2 単位) ○地域イノベーション学特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 I (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2 年次と合わせて 2 単位) ○企業経営特論 (1 単位) ○研究開発倫理特論 (1 単位) ○国際コミュニケーション I (1 単位)	○インターンシップ研修 I (4 単位) ○バイオイノベーション特論 I, II, III 工学イノベーション特論 I (各 2 単位×4 科目=8 単位) ○バイオイノベーション専門英語 I (2 単位)	○特別研究 I (4 単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2 年次	○地域イノベーション実践特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (1 年次と合わせて 2 単位) ○国際コミュニケーション II (1 単位)		○特別研究 II (6 単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士(学術)

博士前期課程の学位取得までの履修モデル③

社会イノベーションユニット(博士前期課程)

研究テーマ： 地域にエネルギーを供給するバイオマス発電事業の実証研究

特別研究の進め方

本プロジェクトでは、新エネルギーを専門とする PM 教員が主指導者となり、電力会社で管理職として勤務する社会人学生の指導を行い、世界のエネルギー政策を専門とする R&D 教員が指導を補助する。バイオマスを用いた新エネルギー開発に関連する世界の動向を分析させることにより、グローバルな視点からエネルギー政策の現状を俯瞰させ、地域のエネルギー供給のあり方について深く考察させる。これを基礎とし、PM 教員と電力会社との共同研究を題材として、バイオマスエネルギーを事業化する新プロジェクトを職場で提案するための実践的な研究を実施する。

修了後の進路予定

- 勤務する電力会社における経営者層の候補者
- 勤務する電力会社が創設するバイオマス発電事業を行う社内ベンチャーの経営者

修了要件

「共通科目」14 単位、「専門科目」から 14 単位以上、「特別研究」10 単位の合計 38 単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

	共通科目 (必修・選択：14 単位)	専門科目 (選択必修・選択：14 単位以上)	特別研究 (必修：10 単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	社会イノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1 年次	○基礎科学特論 (2 単位) ○地域イノベーション学特論 (2 単位) ○企業経営特論 (1 単位) ○研究開発倫理特論 (1 単位) *以上を反転授業として履修 ○プロジェクトマネジメント演習 I (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2 年次と合わせて 2 単位) ○国際コミュニケーション I (1 単位)	○社会連携実践 (4 単位) ○社会イノベーション特論 I, II ○工学イノベーション特論 I, II (各 2 単位) ○バイオイノベーション専門英語 I (2 単位)	○特別研究 I (4 単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2 年次	○地域イノベーション実践特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (1 年次と合わせて 2 単位) ○国際コミュニケーション II (1 単位)		○特別研究 II (6 単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士(学術)

博士前期課程の学位取得までの履修モデル④

社会イノベーションユニット(博士前期課程)

研究テーマ： 地域の特産品に含まれる新規健康機能性成分の探索

特別研究の進め方

本プロジェクトでは、食品の健康機能性成分を専門とする PM 教員が主指導者となり、生物系学部を卒業した一般学生の指導を行い、マーケティングを専門とする R&D 教員が指導を補助する。社会が求める食品の健康効果について社会科学的な分析を実施するとともに、地域の食品会社における半年間の長期インターンシップを履修することにより、地域における食品会社起業の可能性と課題を実践的に理解する。これらの実践的な分析と経験から、ターゲットとして特定された健康効果の分析方法を開発し、地域の特産品をスクリーニングして知財になりうる新規の健康成分を探索する研究を実施する。

修了後の進路予定

- 地域の特産物に含まれる健康成分を利用した製品を製造販売する企業の設立者
- 大学院地域イノベーション学研究科博士後期課程への進学

修了要件

「共通科目」14 単位、「専門科目」から 14 単位以上、「特別研究」10 単位の合計 38 単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、地域イノベーション学研究科が行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

	共通科目 (必修・選択：14 単位)	専門科目 (選択必修・選択：14 単位以上)	特別研究 (必修：10 単位)
科目群	地域イノベーション学専攻の修学に必要な基礎能力養成を目的とする。	社会イノベーション分野に必要とされる専門能力の養成を目的とする。	PM 教員と R&D 教員によるサンドイッチ方式で地域産業界との共同研究プロジェクトを題材とした OPT 型教育によって指導する。
1 年次	○基礎科学特論 (2 単位) ○地域イノベーション学特論 (2 単位) ○企業経営特論 (1 単位) ○研究開発倫理特論 (1 単位) *以上を反転授業として履修 ○プロジェクトマネジメント演習 I (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (2 年次と合わせて 2 単位)	○インターンシップ研修 I (4 単位) ○社会イノベーション特論 I, II ○工学イノベーション特論 I ○バイオイノベーション特論 I (各 2 単位) ○社会イノベーション専門英語 I (2 単位)	○特別研究 I (4 単位) ・研究テーマ・研究計画の策定 ・研究テーマに沿った研究 ・研究開発マネジメントの考察
2 年次	○地域イノベーション実践特論 (2 単位) ○プロジェクトマネジメント演習 II (1 年次と合わせて 2 単位) ○英語口頭発表 (1 単位) ○英語論文作成 (1 単位)		○特別研究 II (6 単位) ・中間学位論文発表会にて進捗状況を報告 ・修士論文の取りまとめ

授与する学位： 修士(学術)

各種問い合わせ先について

* 平日（年末年始及び夏季休業日は除く。）9時から17時までにお問合せください。

地域イノベーション学研究科の入学試験に関すること	三重大学地域イノベーション学研究科事務室 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 TEL:059-231-9632 FAX:059-231-9956 E-mail : jimmu@innov.mie-u.ac.jp
奨学金（日本学生支援機構）に関する こと	三重大学学務部学生支援チーム TEL : 059-231-9061
入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関する こと	三重大学学務部学生支援チーム TEL : 059-231-9678
学生寮に関する こと	三重大学学務部学生支援チーム TEL : 059-231-5371
入学料及び授業料の納入に関する こと	三重大学財務部経理チーム TEL : 059-231-9028

学生募集要項の請求方法について

学生募集要項を請求する場合は「地域イノベーション学研究科博士前期課程学生募集要項請求」と朱書きした封筒に次の2点を同封して、下記事務室宛に送付してください。

- ①便せん等の用紙に、氏名・連絡先（電話番号等）、受験予定の選抜名（一般選抜・社会人特別選抜）を明記してください。
- ②返信用封筒：角型2号封筒（33cm×24cm）に送付先の郵便番号・住所・氏名を明記し、250円分の切手（希望部数1部の場合）を貼ってください。速達を希望する場合は、530円分の切手を貼り、封筒の上部に「速達」と朱書きしてください。

三重大学地域イノベーション学研究科事務室
（三重大学地域イノベーション研究開発拠点D棟1階）
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
TEL : 059-231-9632 FAX : 059-231-9956